

会議名	第5回七尾市健康福祉審議会（平成26年度第1回）
開催日時	平成26年5月29日（木）15:00～16:00
場所	フォーラム七尾 中ホール
出席者	南委員長、尾田副委員長、川島・楠・小林・櫻井・清水・瀧・浜岸・深浦・松木・森委員（12名）（欠席：荒巻・岡田・神野委員） 不嶋市長、北谷部長、石川・中川・楠・竹森課長、谷一・萬谷・宮崎・高沢・土倉補佐 堀口・佐藤・宮川主幹、中村
配布資料	第5回七尾市健康福祉審議会資料

内容【要旨】

1. 開会のあいさつ

（南委員長）

今年度第1回の審議会である。今回は、各分科会より進捗状況や今年度の取り組みなどについて事務局から説明があると思うが、今年度は来年度に向けての計画策定の年である。慎重に審議していただきたいと思う。

（不嶋七尾市長）

日本では少子高齢化と人口減少が急速に進行し、福祉に係る社会環境は年々厳しいものとなっており、福祉に関連する諸制度も変革の時期を迎えている。

今年度末には、「七尾市老人福祉計画」「七尾市介護保険事業計画」「七尾市障害者計画」「七尾市障害者福祉計画」の現行4計画について期限が到来することによる当計画の改定、子ども・子育て支援法の施行に伴い「子ども・子育て支援事業計画（仮）」を新たに策定する必要性が生じたことから、併せて本審議会に諮問する。

今後、委員各位の専門の立場で忌憚のない意見をいただき、計画の一層の充実に向けての審議をお願いしたい。

2. 説明・報告事項

配布資料に基づいて健康福祉政策室長及び各分科会を所管する各課長から説明

健康福祉審議会について

審議会の役割は、諸計画の策定、現行計画の進行管理、保健福祉に関する重要事項についての調査・審議・評価を行うことが目的。

市長の諮問事項

平成26年4月1日付で現行4計画「七尾市老人福祉計画」「七尾市介護保険事業計画」「七尾市障害者計画」「七尾市障害者福祉計画」及び新たな計画「子ども・子育て支援事業計画（仮）」の策定が当審議会に諮問をいただいた。

諮問事項にかかる期間は、平成26年5月29日から平成27年3月31日まで。

健康福祉審議会

● 審議会の概要

○先ほど、説明したとおり。

● 今年度のスケジュール

○本日第1回目の審議会の開催。2回目は、9月下旬から10月上旬、3回目は11月下旬に考えている。その後、市長へ事前説明、議会への説明後、パブリックコメントで市民に意見を求め、2月に第4回の審議会で意見等を反映させ、市長より諮問を受けた計画策定を答申する。

地域福祉分科会

● 分科会の概要

現行計画の中にあるしくみづくり、こころづくり、活動の場づくりの3つの柱を推進していきたい。

● 平成26年度の主な取り組み

- しくみづくりについては、地域福祉ネットワーク・自主防災組織の構築への取り組みを進めていきたい。また、生活困窮者支援法に基づいて生活困窮者支援、自立相談支援を立ち上げ、ハローワーク等、関係機関とネットワークを構築。
- こころづくりについては、民生委員児童委員等の支援や研修会への参画、それから地域福祉推進委員の方に支援の技術を習得していただき、地域で広げていただきたい。
- 活動の場づくりについては、大学コンソーシアム石川の協力を得て、三室町で大学生と教授等を迎え、地域の方と共同で防災をキーワードに支え合いマップづくりに取り組む。

高齢者福祉分科会

● 分科会の概要

- 介護保険法及び老人福祉法に基づいて、第5期の計画の進捗管理を行うとともに平成27年度を開始年度とする第6期の計画の策定について審議。
- 第6期計画に基づき介護保険料の改定について審議。
- 今年度の分科会の開催は、5回を予定。

● 平成26年度の主な取り組み

- 第5期計画の進捗管理、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み。
 - ・医療との連携強化
 - ・介護サービスの充実強化
 - ・生活習慣病等の予防の推進
 - ・見守り、配食等、多様な生活支援サービスの確保
- 第6期介護保険事業計画・老人福祉計画の策定。
 - ・日常生活圏域ニーズ調査の集計・分析を6月上旬を目途に実施
 - ・年齢階層別人口・要介護認定者の推計は、現在実施
 - ・給付状況の分析・評価については、政策評価システムを利用して8月までに実施
 - ・目標や具体的取組の検討、サービス見込量等や保険料の推計を実施し、計画策定を実施

障害者福祉分科会

●分科会の概要

- 七尾市・中能登町地域自立支援協議会の発足後、障害者の方の地域生活マネジメントを継続・実施。
- 療育事業の障害児支援においては、ミナ.クル3階の「親子ふれあいランド あい・あい・あい」と連携し、その横の「多目的会議室」で知的障害のあるお子さんの生活訓練としてポーター教室、音楽療法の取り組みも実施。

●平成26年度の主な取り組み

- 現行計画の進捗状況と評価及びアンケート調査の実施。
- 第2次障害者計画、第3期障害福祉計画が今年度で計画年度を終え、今年度中に策定。

児童福祉分科会

●分科会の概要

- 地域における子育て支援の推進や雇用環境の整備、保健・医療サービスの充実など安心して子どもを産み育てることができる環境の整備。
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えるため、必要な計画や指針等を定め、進捗・管理。
- 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の結果を平成26年3月に報告。
- 特色のある計画の策定。
- 新たに保育園・認定子ども園の再編計画の策定。

●平成26年度の主な取り組み

- 平成27年4月からの制度改定に向けて新たに子ども・子育て支援事業計画の策定。
- 分科会を法律上の子ども・子育て会議に位置付けて審議。
- 必要な条例の選定の検討、制度設計を9月議会に上程。

保健医療分科会

●分科会の概要

- 生涯を通じて市民が健康な生活を送るため、健康づくりと環境整備を推進することを目的として、生活習慣病の予防、施策を審議。
- 子どもから高齢者に至るまでライフステージに応じた健康問題を医療機関等と連携して健康づくりを推進。
- 生活習慣病発症予防及び重症化予防対策の強化。

●平成26年度の主な取り組み

- 計画における重点的取り組み。
 - ・食生活：「ストップ！ ザ・糖尿病」
 - ・運動：「みんなで運動 こころイキイキ」
 - ・歯の健康：「歯っぴーライフ ♪ 8020」
 - ・生活習慣病危険因子：「ななお市民 検診受診 大作戦 ★多」
- 保健医療の重要事項。
 - ・新型インフルエンザ等行動計画の策定

3. 質疑応答

Q 1. 障害児支援について（障害者福祉分科会）委員より

今後さらに支援内容を充実させるということだが、具体的にはどのようなことを考えているのか？

A 1. 担当 課長

昨年度の審議会においても、療育ファイルを示していきたいと報告しているが、情報共有の一つのツールとして作成していきたいと考えている。

療育事業の中で保育年齢から就学時年齢に切り替わる時に情報がスムーズに流れるように障害児を持つ保護者と必要な情報を共有しながら検討していく。

Q 2. 委員より

例えば、障害児が療育から小学校、中学校と成長する過程の中で関わる人たちが情報を共有するツールとして考えていると思うが、現在この障害児をサポートする関係機関や組織で情報を共有する体制は構築されているのか？

A 2. 担当 課長

現在、ネットワーク化には至っていない。個人情報もあり、今後どんな結びつきができるか考えていきたい。

意見) 委員より

子ども・子育て支援事業計画について、心強い言葉をいただいた。国が示している目標は、七尾市は既にクリアしている。七尾の特色ある計画を期待する。

Q 3. 生活困窮者への支援（地域福祉分科会）委員より

生活困窮者とはどのような方々なのか、定義を教えて欲しい。

A 3. 担当 課長

支援法では、生活保護に至る前に支援することになっている。生活保護での最低生活支給基準に近い方をいう。平成27年度からの稼働となる。

Q 4. 高齢者福祉分科会について（高齢者福祉分科会）委員より

国の基本指針が示されていないなか、ニーズ調査等についても集計・分析中で6月を目途としているとのことだが、そんな状態で6月の分科会はどのような会議となるのか。24時間対応のサービスも難しい現状であり、無駄な参集とならないか？

A 4. 担当 課長

分科会は6月末頃を予定しており、その頃までにはニーズ調査の報告ができると考えている。

Q 5. 雇用環境の整備について（児童福祉分科会）委員より

子育て支援サービスについて検討するとのことで、雇用環境の整備、保健・医療サービスの充実など幅広く考えているが具体的にはどのような内容か？

A 5. 担当 課長

具体的にお答えすることは難しい。子育て支援課単独で考えることは難しいし、審議もしにくい。担当部局と連携し進めていければよいと考えている。

意見) 委員より

商工会議所で総務省のICTを利活用したまちづくり事業で、スマートフォンを使い高齢者の見守りの実証実験を行った。今後、どんな風に進んでいくかはわからないが。

返答) 担当 課長

在宅生活支援の基盤整備については、ICTありきで臨むかは答えられない。